



令和2年3月24日(火)  
練馬区立開進第四小学校  
校長 河崎 晃二

# 開四小だより

## 春休み号

### ゆずり葉

校長 河崎 晃二

校庭の桜が咲き、春の訪れを感じる今日この頃です。新型コロナウイルス対応につきましては、保護者の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。

さて本日、修了式を終え、明日は卒業式を迎えます。春は別れと出会いの季節といいますが、喜びと少しの寂しさを覚えるのが卒業式です。

※

先日、ゆずり葉のことが書かれている練馬区内の学校だよりを読みました。その時私は、卒業間近に学んだ、河合酔茗(かわいすいめい)の「ゆずり葉」という詩を思い出しました。

私が通っていた学校には、ゆずり葉の木があり、6年生だった私は「このような不思議な植物があるのだ。」くらいにしか感じませんでした。しかし、今こうして「ゆずり葉」の詩を改めて読み返してみると、とても深い意味があり、また、考えさせられました。

開四小の6年生は、まさにこの「ゆずり葉」のように様々なことを5年生へと引き継いできました。5年生は、なかよし班や委員会、クラブ活動など、実際に6年生に計画の立て方や進め方、配慮することなどを学級ごとに聞く時間を設け、アドバイスを受けました。これは、これまでの6年生もしてきたことですし、これが開進第四小学校伝統であり、素晴らしいことです。

我々大人も、未来を担う子供たちに向けて、残すべき世の姿を思い描き、子供たちに誇りをもって譲ることのできる世の中にしていきたいものです。

\*

今年度最後の学校だよりとなりました。一年間本当にありがとうございました。本校の教育活動に深いご理解いただき、惜しみないご支援・ご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

### ゆずり葉

河合酔茗

子供たちよ。  
これは譲り葉の木です。  
この譲り葉は  
新しい葉が出来ると  
入り代わってふるい葉がおちてしまふのです。

こんなに厚い葉  
こんなに大きい葉でも  
新しい葉が出来ると無造作に落ちる  
新しい葉にいのちを譲って――。

子供たちよ  
おまえたちは何を欲しがらないでも  
凡てのものがお前たちに譲られるのです。  
太陽の廻るかぎり  
譲られるのは絶えません。

輝ける大都会も  
そっくりおまえたちが譲り受けるのです。  
読みきれないほどの書物も  
みんなお前たちの手に受取るのです。  
幸福なる子供たちよ  
お前たちの手はまだ小さいけれど――。

世のお父さん、お母さんたちは  
何一つ持ってゆかない。  
みんなお前たちに譲ってゆくために  
いのちあるもの、よいもの、美しいものを、  
一生懸命に造ってみます。

今、お前たちは気が附かないけれど  
ひとりでのいのちは延びる。  
鳥のやうにうたひ、花のやうに笑ってゐる間に  
気が附いていきます。

そしたら子供たちよ。  
もう一度譲り葉の木の下に立って  
譲り葉を見る時が来るでせう。